



弟子つて
家族みたいなものですか？

劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんことは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けています。

劇団うりんこ
公式HP



小学生作品
一覧はこちら



劇団うりんこ

TEL. 052-772-1882

FAX. 052-771-7868

info@urinko.jp www.urinko.jp

〒465-0018

名古屋市名東区八前一丁目112番地



劇団うりんこ

◆ 原作——安東みきえ
◆ 絵——牧野千穂
〔そまがりの魔女（アリス館）〕
◆ 脚本・演出——田辺剛
（下鴨車窓）

へそまがりの 魔女



美術——乗峯雅寛
照明——四方あさお
音楽・音響——ノノヤマナコ
衣装——さくま晶子
人形美術——宮武史郎
歌唱指導——毛利美奈子
振付——下出祐子
写真——服部義安
映像——山内崇裕
宣伝美術——伊藤祐基

ちゅきにならなきゃ、
ちゅらい思いもしないで
ちゅみまちゅから

どうかここにおいでください。
どんな仕事でもしますから。

へそまがりの まじよ 魔女



◆原作——安東みきえ
◆絵——牧野千穂「へそまがりの魔女」(アリス館)
◆脚本・演出——田辺剛(下鴨車窓)



おいしいからって、
ぜんぶとろうとしちゃいけないよ。
欲をかけたらいけないんだよ。

——アリガトウ?
——感謝の気持ちを表すことばだ。
言うだろ、優しくしてくれた時とか。



それから魔女はきっとだれのことも
すきにならないって決めたんでちゅ。

王子に呪いをあたえるんだよ。



◆ものがたり

あ

る所に、とてもへそまがり、世にも恐ろしい呪いの力を持つ魔女がいました。そこへ行き場をなくしたみなしの少女が迷いこみ、魔女の家で働くことになりました。

人嫌いの魔女とやさしさを知らない少女の間には、不思議な気配が少しずつ芽生えていきます。

そんなある夜、王子誕生の報せが届き、魔女は少女に“99の丸いパンと1つの三角のパン”を作るよう命じます。それは王国の運命を揺るがす呪いの儀式の始まりでした。

魔女の真意は？そして国の行方、少女の未来は…

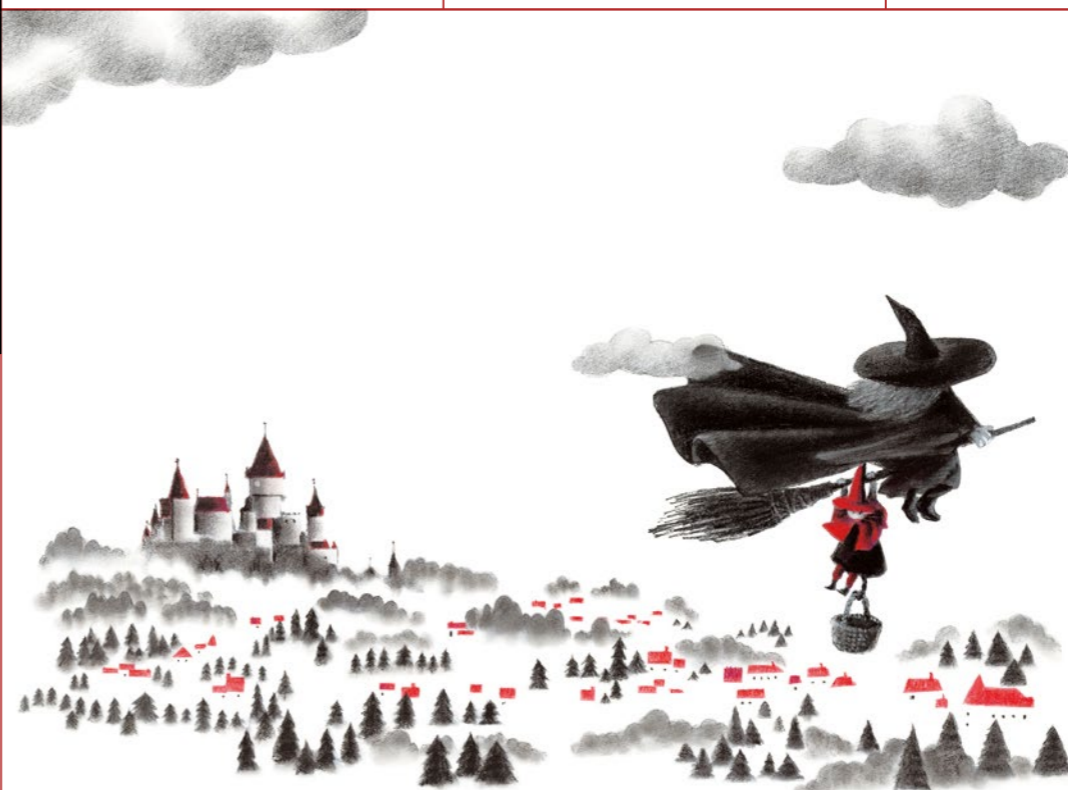
心を閉ざした魔女と、 優しさを知らない 少女が、 ほんとうの気持ちに 気が付く物語

——呪いの力は強いからね、誰も逃げられない。



笑った？魔女が？
見たことある？
ないよ。え、本当に？魔女が笑った？

”つながるって、あつたかい“が 体でわかる、全学年向きファンタジー



◆メッセージ

それでも、人と関わることでしか 得られない喜びがある。 関わり続ける勇気を 子どもたちに届けます。

今

対面での人間関係に「傷つきたくない」「面倒だから距離を置きたい」と不安を抱える子どもが増えています。

心を閉ざした魔女と、優しさを知らずに育った少女が、少しずつ互いの本心に触れ、関係を育てていく姿は、子どもたちに対人関係づくりへ一歩踏み出す勇気を与えてくれます。

少しの煩わしさを引き受けてこそ得られる“人とのつながりの温かさ、かけがえのない喜び”を、子どもたちが実感してくれることを願っています。